

農林漁業成長産業化ファンドの目的について

ファンドの目的

農林漁業者が、6次産業化を通じた事業規模の拡大等に取り組もうとする際、必要となる資金を出資により供給することを通じて、農林漁業者の所得の向上、ひいては雇用の拡大・地域活性化を図ることを目的としている。

6次産業化とは

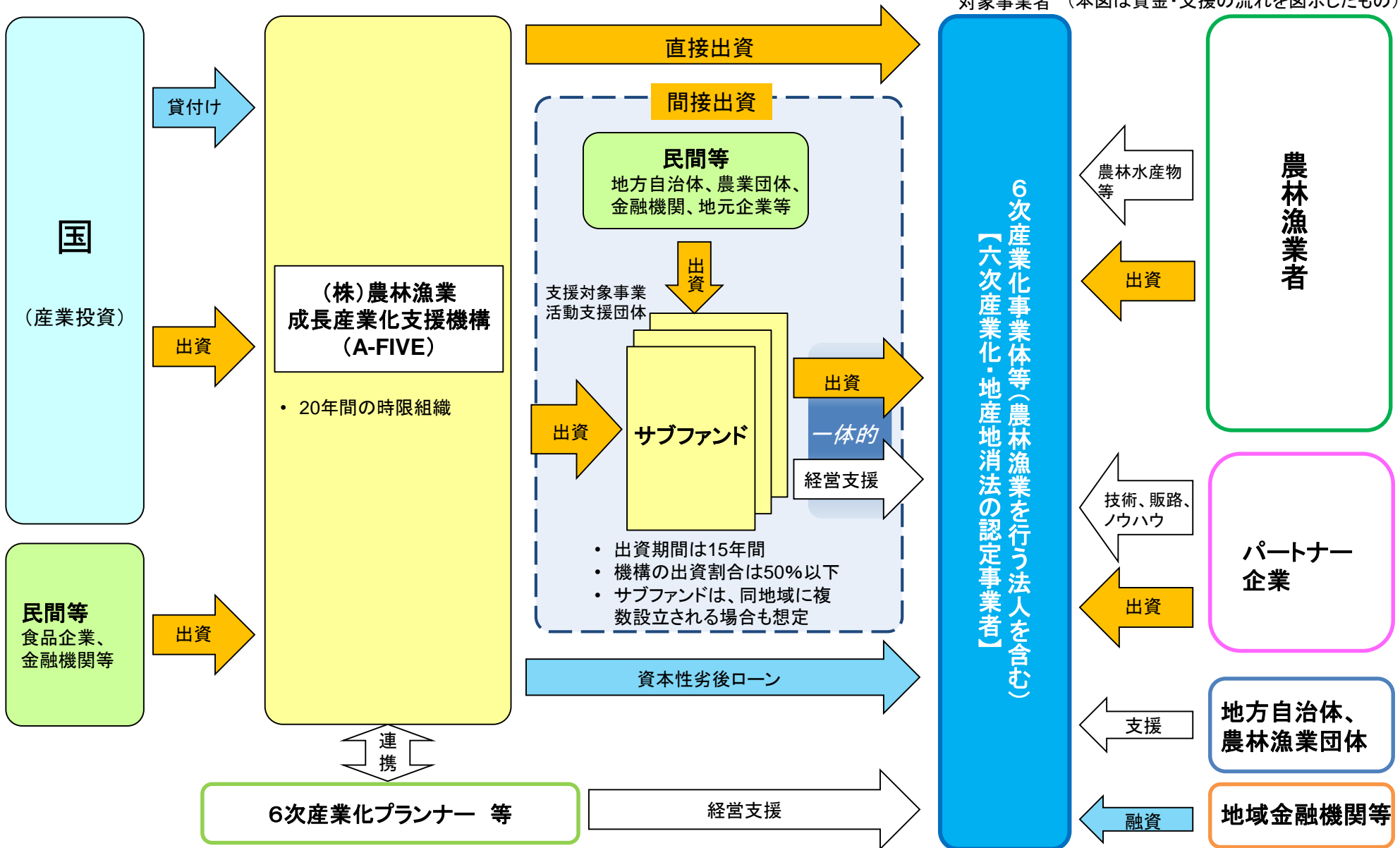
- 農林漁業を1次産業としてだけではなく、加工などの2次産業、さらにはサービスや販売などの3次産業まで含め、1次から3次まで一体化した産業として農林漁業の可能性を広げようとするもの。
- 農林漁業者が主体となって、農山漁村に由来する農林水産物やバイオマスといった農山漁村の豊かな「地域資源」を活用し、新たな地域ビジネスの展開や新たな業態の創出に取り組むことで、付加価値のより多くの部分を農山漁村地域に帰属させ、地域内における所得と雇用を確保することとなる。

【6次産業化の概念図】



農林漁業成長産業化ファンドによる資金・支援の流れ

対象事業者（本図は資金・支援の流れを図示したもの）



※この他、A-FIVEから支援事業者(6次産業化に取り組む農林漁業者の国内外の販路開拓等を支援する事業者)への出資も可能。